

## 協働のまちづくり協議会（第8回）会議録

- 《日 時》 平成 28 年 11 月 15 日（火） 午前 10 時～午後 3 時  
《場 所》 教育委員会 6 階会議室  
《出席者》 犬塚 裕雅 会長、杉浦 利彦 委員、長江 曜子 委員（途中退席）、牧野 昌子 委員（途中退席）、江藤 政継 委員、山崎 年也 委員、郡 正信 委員  
《傍聴者》 0 名（非公開）

### 1 開会

※欠席者報告・委員会定数確認

### 2 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

### 3 第 3 次協働推進計画答申書交付式

### 4 議 題

#### (1) 平成 29 年度協働事業本審査

- ・協働事業提案制度の申請事業と利害関係のある委員を確認した。
- ・仮集計表をもとに各事業の意見交換を行い、点数を確定した。
- ・採択すべき事業、採択すべきでない事業を決定した。  
採択すべきでない事業については不採択理由を、また必要に応じて、付帯意見をまとめた。
- ・審査結果、付帯意見等については、別添のとおり。

#### (2) 平成 29 年度市民活動助成事業本審査

- ・市民活動助成制度の申請事業と利害関係のある委員を確認した。
- ・仮集計表をもとに各事業の意見交換を行い、点数を確定した。
- ・採択すべき事業、採択すべきでない事業を決定した。  
採択すべきでない事業については不採択理由を、また必要に応じて、付帯意見をまとめた。
- ・審査結果、付帯意見等については、別添のとおり。

《付帯意見及び不採択理由以外の意見》

#### ■笑劇で施設利用老人を元気にする事業（スタート助成）

- ・見る側だけでなく、演じる側も脚本を作ったり練習をしたりして笑うことによって、

健康促進、認知症予防に繋がるというところがよい。(委員)

- ・「老人」という用語について、「高齢者」という言葉のほうが一般化しているので、そちらに差換えることを検討してほしい。(委員)

■子どもの貧困の啓蒙、子どもと高齢者の交流事業（スタート助成）

- ・事業名の「啓蒙」と言う言葉は、「啓発」のほうが相応しいと思われる。(委員)
- ・事業名の「子どもの貧困」という言葉は、誤った受け取り方をされると良くないので、工夫が必要である。(委員)
- ・事業の主旨を多くの市民に理解してもらい、講演会への参加者を増やすためにも、事業の名称については伝わりやすい表現にしたほうが望ましい。(会長)

■個々の家族構成・生活スタイルに合った「我が家の災害マニュアル」を作ろう事業（スタート助成）

- ・広報の仕方として、ワークショップでは何ができるのか、出口が見えないとなかなか参加してもらえないと思うので、我が家に適った災害マニュアルがどのようなものかわかるように広報してほしい。(会長)

■公共サインの改善で松戸の街並みをレベルアップする事業（スタート助成）

- ・団体の構成員が学生であり毎年人が変わると思うので、区切りを付けて、具体的な目標を設定するとよい。(委員)
- ・市民活動として、団体の持つ専門性を地域に活かすためにも、市民への働きかけを積極的に行い、さらに地域を巻き込んだ活動にしていってほしい。(委員)

■「カレーを食べる会」事業（ステップアップ助成）

- ・今後の展望に書かれている認知症対応については、ぜひ広がってほしい。(委員)
- ・更なる水平展開を行ってほしい。(委員)

5 閉会

平成29年度 協働事業 審査結果

順位	事業名	団体名 担当課名	採択の 適否	負担金額 (円)	付帯意見又は理由
1	地域連携自主防災事業	栗ヶ沢中学校地域防災委員会 危機管理課	適	500,000	-
2	協働のまちづくり啓発事業	特定非営利活動法人まつど NPO協議会 市民自治課	適	179,100	<p>&lt;付帯意見&gt; 賞金制度の導入には、誰もが納得する選定基準を設定する等の仕組みが必要であり、また賞金を一度きりにしてしまうと不公平になることから、協働事業負担金終了後も継続することが望ましいため、市民活動表彰においては、賞金よりも賞状の交付と広報面の支援が適当と料する。事業の目標を市民60人としているが、講演会の効果を高めるために、より多くの市民へ周知し、機会を提供してほしい。</p>
3	子どもたちがつくる青少年 会館居場所事業	だいすき松戸！子どもフェス ティバル実行委員会 生涯学習推進課 青少年会館	適	122,200	<p>&lt;付帯意見&gt; 高校生・大学生を対象に開催する担い手育成講座に期待する。子どもたちにとって少し年上の人と関わることは新鮮で楽しい体験となり、また高校生、大学生にとっては地域コミュニティを体験する場となり、相互にとって良い取り組みである。ゆえに、高校生、大学生が継続的に関われる仕組みを平行して構築してほしい。</p>
4	地域ねこ活動推進事業	まつど地域ねこ会 環境保全課	適	225,000	<p>&lt;付帯意見&gt; 外部講師を招いてのセミナーのほか、担当課によるパートナー講座も活用するなど、複数の周知方法を組み合わせることでより市民の理解が深まると料する。</p>
-	生物多様性地域戦略事業	緑のネットワーク・まつど 環境政策課	否	468,000	<p>&lt;不採択理由&gt; 地域戦略の策定にあたっては、まず市が策定に取り組み、策定後に関係団体と連携、協働をすべきであると思料され、また、なぜ戦略を策定する必要があるのかが不明確であるため。 &lt;付帯意見&gt; 提案団体は里山活動ネットワークという強みを持っていることから、そのつながりを生かし、千葉大学と協働しながら、市民目線で気づいた地域戦略に係る課題を共有し、提示をすれば、より良い提案になると料する。</p>

平成29年度市民活動助成事業 審査結果

■平成29年度 市民活動助成事業（スタート助成）

優先順位	事業名	団体名	採択の適否	助成金額(円)	付帯意見又は理由
1	笑劇で施設利用老人を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	適	100,000	-
2	まつどでつながるママたちから事業	まつど一時保育ネットワーク	適	67,400	-
3	子どもの貧困の啓蒙、子どもと高齢者の交流事業	子どもの未来を考える会	適	100,000	-
4	なつやすみアートひろば事業	NPO法人子どもつとまつど	適	100,000	<付帯意見> これまで、教育委員会の共催により実施しているが、今後市民活動助成事業として実施するのであれば、共催は当該制度に馴染まないため、後援がふさわしいと思料する。
5	パトロールランニング普及事業	パトラン松戸	適	100,000	<付帯意見> 防犯関係団体と連携し、また貴団体の取り組みが関係団体に認知され、他団体や他機関と繋がるために、ポスターやリーフレットを活用し、各地域に展開することを望む。また、イベントでのデモンストレーションなど、市民に認知してもらう機会作りを積極的に行ってほしい。
5	「認知症に備える」為の啓発活動事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	適	97,000	-
7	個々の家族構成・生活スタイルに合った「我が家の災害マニュアル」を作ろう事業	NPO法人Mama Can	適	100,000	-
8	公共サインの改善で松戸の街並みをレベルアップする事業	都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会	適	100,000	<付帯意見> 調査報告にとどまらず、公共サインデザイン策定に向けた提言を行うことを期待する。

9	音楽活動によるまちの活性化事業	松戸合唱まちづくり同好会	適	100,000	<p>&lt;付帯意見&gt; 事業収入において、福祉施設入居者からは参加費を徴収しないものと思料するが、徴収するのであれば、慎重に考えてほしい。活動の継続のために、助成金の使い方を考え、助成金の終了後も続けられるよう工夫することを望む。</p>
10	「自炊者の常用レシピ - 母の味 -」を広く市民に配布する事業	数値調理会	適	100,000	<p>&lt;付帯意見&gt; レシピの配布を目的とせず、自炊の楽しさに気づいてもらうための働きかけをしっかりと行ってほしい。その結果、健康寿命延伸に繋がる一歩となることを期待する。</p>
-	2020年学習指導要領改定に係る講演会とTRPG体験イベント事業	MEP(松戸教育推進会議)	否	65,700	<p>&lt;不採択理由&gt; 生きる力を養う、育むことにおいては、TRPGに軸足を置いたほうが事業の効果が見込まれ、また、学生、親、教育関係者を対象としているが、対象が絞りきれていないため。</p> <p>&lt;付帯意見&gt; 現在貴団体が取り組んでいる学生の居場所と学習の場づくり事業で得られる知見は、貴団体の強みとなるので、それらの取り組みを土台に再考し、提案してほしい。</p>

■平成29年度 市民活動助成事業（ステップアップ助成）

優先順位	事業名	団体名	採択の適否	助成金額(円)	付帯意見又は理由
1	「カレーを食べる会」事業	五番街ふれあいセンター	適	250,000	<p>&lt;付帯意見&gt; 活動の継続を望む観点から、赤字にならないよう必要となる食材費に参加者の会費を合わせることを検討してほしい。また、参加者のうち、可能な方には、食器類一式を持参してもらうなど、消耗品費を抑える試行をしてほしい。</p>
2	地域を支える安心システムへの取組事業～成年後見人制度の普及・啓発・利用促進事業「第二弾」～	認定NPO法人 東葛市民後見人の会	適	300,000	-